



平成29年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年4月12日

上場会社名 アウンコンサルティング株式会社
 コード番号 2459 URL <https://www.auncon.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 専務執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成29年4月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 信太 明
 (氏名) 坂田 崇典
 TEL 03-5803-2727

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第3四半期の連結業績(平成28年6月1日～平成29年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第3四半期	1,423	4.9	15	30.8	11	△28.6	10	△24.1
28年5月期第3四半期	1,357	15.0	12	—	15	—	13	—

(注)包括利益 29年5月期第3四半期 16百万円 (—%) 28年5月期第3四半期 △24百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第3四半期	1.35	—
28年5月期第3四半期	1.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年5月期第3四半期	1,028	729	71.0
28年5月期	1,042	712	68.4

(参考)自己資本 29年5月期第3四半期 729百万円 28年5月期 712百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年5月期	—	0.00	—	—	—
29年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,027	8.9	30	40.5	30	25.6	25	24.2	3.42

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年5月期3Q	7,502,800 株	28年5月期	7,502,800 株
② 期末自己株式数	29年5月期3Q	— 株	28年5月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年5月期3Q	7,502,800 株	28年5月期3Q	7,502,800 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年6月1日～平成29年2月28日）におけるわが国経済は、アベノミクスによる各種経済政策を背景に企業収益や雇用環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移するも、実質所得の改善が遅れ、個人消費については力強さに欠ける状況が続いております。また、中国をはじめとするアジア新興国の景気減速、米国新政権発足による今後の経済動向や英国のEU離脱問題等による為替相場及び株式市場の不安定化などにより、企業を取り巻く環境は不透明な状況が続いております。

当社グループの主たる事業領域である国内インターネット広告市場につきましては、ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）の浸透により、スマートフォン向けの広告が堅調に推移したことで、平成28年のインターネット広告費は1兆3,100億円（前年比13.0%増）、その内、媒体費が単独で初めて1兆円を超え（1兆378億円 前年比12.9%増）、インターネットメディアへのシフトが続いております。（株式会社電通「2016年日本の広告費」）

また、インバウンド市場につきましては、2016年以降、訪日外国人旅行者の消費行動が「モノ消費」から「コト消費」へシフトした影響で、旅行消費額が減少傾向にあるものの、2016年の訪日外国人旅行者数が2,403万9千人（前年比21.8%増）と過去最高を記録し（日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」）、今後もアジア諸国の経済成長に伴う訪日旅行者数の増加及び日本企業における外国人向けプロモーション需要はますます高まることが期待されております。

なお、営業外収益で投資事業組合運用益等を、営業外費用で当社から海外法人への貸付金の洗い替えによる為替差損等を計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,423,355千円（前年同期比4.9%増）、営業利益は15,843千円（前年同期比30.8%増）、経常利益は11,153千円（前年同期比28.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10,150千円（前年同期比24.1%減）となりました。

① マーケティング事業

マーケティング事業においては、アジア圏における旺盛な日本旅行需要を背景に、多言語（日本語以外の言語）プロモーション領域における売上及び利益が堅調に推移いたしました。海外現地法人とのネットワークを活用し、海外現地ごとに異なるプロモーション手法に対応したサービスの開発が進んだことで業容の拡大に寄与しております。また、グローバル人材の採用および教育に対する先行投資を継続しておこなっております。以上の結果、当事業における売上高は1,395,691千円（前年同期比4.3%増）、営業利益は146,799千円（前年同期比31.3%増）となりました。

② アセット事業

アセット事業においては、プロモーション活動への先行投資、新規提携デベロッパーの開拓等、将来の収益化に向けた積極的な先行投資を行っております。以上の結果、当事業における売上高は27,663千円（前年同期比47.1%増）、営業損失は12,302千円（前年同期は営業損失1,657千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.8%減少し、686,472千円となりました。これは、主に現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.5%減少し、341,608千円となりました。これは、主に減価償却費の増加によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて14.7%減少し、279,741千円となりました。これは、主に前受金の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1005.0%増加し、18,770千円となりました。これは、主に長期前受金の増加によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.4%増加し、729,569千円となりました。これは、主に利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間にしましては、概ね計画通りに推移しているため、平成28年7月13日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示して参ります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	480,531	387,179
受取手形及び売掛金	191,230	244,892
仕掛品	1,411	80
その他	30,313	58,610
貸倒引当金	△4,613	△4,289
流動資産合計	698,872	686,472
固定資産		
有形固定資産		
建物	87,335	117,740
減価償却累計額	△15,506	△19,901
建物(純額)	71,829	97,838
車両運搬具	4,867	2,228
減価償却累計額	△1,154	△882
車両運搬具(純額)	3,712	1,346
工具、器具及び備品	39,795	42,146
減価償却累計額	△34,882	△34,613
工具、器具及び備品(純額)	4,912	7,533
建設仮勘定	121,520	98,568
有形固定資産合計	201,974	205,287
無形固定資産		
ソフトウェア	1,644	945
無形固定資産合計	1,644	945
投資その他の資産		
投資有価証券	80,952	76,502
長期貸付金	30,119	28,348
敷金及び保証金	30,332	31,173
その他	-	853
貸倒引当金	△1,596	△1,502
投資その他の資産合計	139,808	135,374
固定資産合計	343,427	341,608
資産合計	1,042,299	1,028,080
負債の部		
流動負債		
買掛金	165,948	176,683
未払費用	23,679	24,201
未払法人税等	4,977	2,124
前受金	45,630	30,648
その他	87,556	46,084
流動負債合計	327,793	279,741
固定負債		
繰延税金負債	1,620	2,696
その他	77	16,073
固定負債合計	1,698	18,770
負債合計	329,491	298,511

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	341,136	341,136
資本剰余金	471,876	471,876
利益剰余金	△104,405	△94,255
株主資本合計	708,606	718,756
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,631	6,042
為替換算調整勘定	466	4,682
その他の包括利益累計額合計	4,098	10,725
新株予約権	102	87
非支配株主持分	0	0
純資産合計	712,807	729,569
負債純資産合計	1,042,299	1,028,080

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
売上高	1,357,265	1,423,355
売上原価	994,087	1,022,498
売上総利益	363,178	400,857
販売費及び一般管理費	351,063	385,013
営業利益	12,114	15,843
営業外収益		
受取利息	160	112
解約手数料等	320	463
未払配当金除斥益	221	-
投資事業組合運用益	35,448	10,311
その他	2,413	2,529
営業外収益合計	38,565	13,417
営業外費用		
支払利息	33	16
為替差損	34,773	18,044
その他	252	45
営業外費用合計	35,060	18,107
経常利益	15,620	11,153
特別利益		
固定資産売却益	-	98
新株予約権戻入益	-	15
特別利益合計	-	113
税金等調整前四半期純利益	15,620	11,266
法人税、住民税及び事業税	2,246	1,116
四半期純利益	13,373	10,150
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,374	10,150

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
四半期純利益	13,373	10,150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,788	2,410
為替換算調整勘定	△29,283	4,216
その他の包括利益合計	△38,072	6,626
四半期包括利益	△24,698	16,777
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△24,697	16,777
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	マーケティング 事業	アセット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,338,459	18,806	1,357,265	—	1,357,265
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
セグメント利益又は損失(△)	111,824	△1,657	110,166	△98,051	12,114

(注) 「調整額」の区分については以下のとおりであります。

1. セグメント利益又は損失は、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	マーケティング 事業	アセット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,395,691	27,663	1,423,355	—	1,423,355
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
セグメント利益又は損失(△)	146,799	△12,302	134,497	△118,653	15,843

(注) 「調整額」の区分については以下のとおりであります。

1. セグメント利益又は損失は、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前第3四半期連結累計期間においては、「マーケティング事業」の単一セグメントでありましたが、前連結会計年度より、当社グループの報告セグメントは、「マーケティング事業」及び「アセット事業」の2つの報告セグメントとなりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の比較情報として、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報を開示しております。